

お知らせ

平成21年4月17日

農 林 水 産 省

花粉交配用ミツバチの産地への影響調査の結果について

花粉交配用ミツバチ不足に伴う産地への影響について、全国調査を行い、調査結果をとりまとめましたので、別紙のとおり、お知らせします。

【別紙】

- ・花粉交配用ミツバチの不足に伴う産地影響状況調査について

【問い合わせ先】

生産局生産流通振興課

担当者：宇井、月岡

電話：03-3502-5958

花粉交配用ミツバチの不足に伴う産地影響状況調査について
(全農県本部等への聴取り(とりまとめ))

- 1 今般の花粉交配用ミツバチ不足に伴う産地への影響について、緊急に全国調査を行った結果、20都道府県から影響が認められるとの報告があった。
- 2 まず、生産コストの増加については、16都道府県から報告があり、都道府県によって幅が見られるものの、2千円/10a～10千円/10aであった。

《参考》主なミツバチ受粉作物における農業経営費 (数値は全国平均(千円/10a))

	いちご	メロン	すいか
①農業粗収益	3,520	1,197	661
②農業経営費	1,717	667	354
うち 諸材料費	105	23	48
③農業所得	1,785	530	307

○ミツバチの経費については諸材料費に含まれる。

資料：品目別経営統計(平成18年)

- 3 一方、収量に対する影響については、3都道府県を除き影響が出ていないことを確認した。
- 4 なお、ミツバチ不足の影響が疑われる品質への影響としては、5都道府県からうまく受粉せず奇形になったいちごの発生が報告された。

(注)

今回の調査は、全農県本部等にご協力頂き、緊急に情報収集を行ったものであり、調査時間の都合上、必ずしも全貌を捕らえ切れていない面がありますので、ご留意願います。